

## 第3次健康りつとう21 (R6実績・R7計画案)

### 基本目標3 心身の健康を支える社会環境の質の向上

【目指す方向性】◆市民一人ひとりの健康づくりを進めるために、地域における人と人のつながりを強め、地域社会が相互に支えあうコミュニティの活性化や自主活動を支援するとともに、市民の健康づくりへの関心の喚起と地域における健康づくりに関する共助(支えあい)の取り組みを支援します。

### 7. 生涯を通じた健康づくりを支える社会環境の整備

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R6(2024)年度 取り組み計画	R7(2025)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	R7(2025)年度 計画 (昨年度からの改善や 追加もあれば記載)	評価指標	
							現状(令和4年)	目標(令和16年)
協働による健康づくりの推進	自主活動やボランティア活動により、仲間とともに会、地域振興協議会に活動する機会を通じて、地域とのつながりを促進することで心身の健康増進を図ります。	自治会、老人クラブ、子ども会、地域振興協議会				(自治会) (老人クラブ) (子ども会) (地域振興協議会)	●市民活動に参加する人の割合の増加 全体 12.0%  ●地域の人たちとのつながりが強いと思う人の割合の増加 全体 16.6%  ●市の情報発信を通じて健康に関する情報を入手している人の割合の増加 市の広報 全体 21% 市のホームページ 全体 6.2%	↗ ↗ ↗
子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた健康づくりを推進し、地域ぐるみの健康づくりの促進と地域交流を図ります。	健康推進員連絡協議会 民生委員児童委員協議会 社会福祉協議会	(健康推進員) ●各学区・各自治会とのつながりを持ちながら、地域において健康づくりの推進を実施。 (社会福祉協議会) ●各地域で、高齢者サロンや、老人クラブの開催や協力 ●サロン活動等運営支援 ・助成事業による支援 ・出前講座による支援 ・サロン交流会の実施等 ●子ども食堂を通じた地域のつながりづくりの推進	(健康推進員) ●年9回 (社会福祉協議会) ①サロン、老人クラブ等地域活動出動件数70件。 ②サロン助成事業41件。 ③出前講座33件。 ④サロン交流会3/18実施予定。 ⑤子ども食堂助成7件。 ⑥子ども食堂相談件。 以上11月末現在	B	<b>健康推進員連絡協議会</b> ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  <b>民生委員児童委員協議会</b> □令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  <b>社会福祉協議会</b> ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)			
県や市、市内の企業等と連携し、健康づくりに関する啓発や情報提供を推進し、働く人々の心身の健康増進を図ります。	商工会	県南部健康福祉事務所などと連携し、健康づくりに関する情報を会員事業主に対して提供します。	県南部健康福祉事務所と連携し、健康づくりに関する情報を会員事業主に対してメールにて発信・周知した	B	<b>商工会</b> ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)			
市と連携し、各種健(検)診事業や介護予防事業を実施するとともに、健康に関する講座やイベントの開催を通じて、健康づくりの機運を高めます。	医師会 歯科医師会 薬剤師会	(薬剤師会) 後期高齢者多剤内服者通知事業の実施 出前講座の実施	(薬剤師会) ◆後期高齢者多剤内服者通知事業 2023年8月～11月診療分のレセプト分析より ①削減効果額は428,831円(通知者累計885名、効果測定対象者785名) ②改善人数(2022年12月～2023年3月と比較)について、医薬品種類数の改善者割合は28.5%(改善数:224名)、重複服薬は62.2%(改善数:61名)相互作用(禁忌)は100.0%(改善数:6名) 慎重投与は10.2%(改善数:57名) ③一人当たりの医薬品種類数(2022年12月～2023年3月と比較)について、全体の削減割合は5.6%(改善数:0.5種類)重複服薬の削減割合は11.0%(改善数:1.1種類) 相互作用(禁忌)の削減割合は-18.1%(改善数:-1.5種類) 慎重投与の削減割合は6.4%(改善数:0.6種類)であった。  ◆栗東市における出前講座実施回数は7回	B A	<b>医師会</b> □令和6年度(実績)と同じ ■新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 栗東市からの依頼があれば、積極的に出前講座を行いう用意があります。  <b>歯科医師会</b> □令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  <b>薬剤師会</b> □令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)			

## 7. 生涯を通じた健康づくりを支える社会環境の整備

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R6(2024)年度 取り組み計画	R7(2025)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	R7(2025)年度 計画 (昨年度からの改善や 追加もあれば記載)	評価指標	
							現状(令和4年)	目標(令和16年)
健康づくりの知識と生活習慣の啓発	子どもの頃から健康に関する正しい知識と生活習慣を身につけられるよう、児童生徒の健康づくりを推進します。	小中学校	(養護教諭部会) ●保健だより、長期休業中の生活習慣づくりのカレンダーを配布し啓発。	予定通り実施できた。	B	養護教諭部会 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		
地域への参加を通じた健康づくりの促進	市民スポーツ大会や学区民運動会、学区民まつり等を通じて、市民の運動の機会や外出の機会を増やし、地域への参加を促進することで心身の健康増進を図ります。	スポーツ・文化振興課	地域でのスポーツ大会や運動会、まつり等において誰もが参加できるニュースポーツ等を活用し、市民の健康増進を図る。			スポーツ・文化振興課 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		
高齢者の生きがいづくりと社会参加・参画の推進	はづらつ教養大学や社会教育事業などの機会を提供し、高齢者の生きがいづくりや健康増進を推進します。また、高齢者が地域社会の担い手として活動する重要な場となっている老人クラブ活動ならびに栗東100歳大学卒業生の活動を支援します。さらに、いきいき活動ポイント事業を実施します。	生涯学習課 長寿福祉課	(生涯学習課) はづらつ教養大学 開催回数 45回 うち 健康運動 11回 健康維持講座 6回 認知症予防講座 8回 (長寿福祉課) ・栗東100歳大学卒業生支援 ・いきいき活動ポイント事業の実施	(生涯学習課) (生涯学習課) はづらつ教養大学 開催回数 45回 うち 健康運動 11回 健康維持講座 6回 認知症予防講座 8回 (長寿福祉課) 栗東100歳大学卒業生支援として、栗東100歳大学OBによるリーダー会を年3回実施。長寿福祉課担当職員も必要時参加。 いきいき活動ポイント事業に登録しているいきいき百歳体操実践団体 38団体	B	生涯学習課 ■令和6年度(実績)と同じ 回数等に変更あり □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  長寿福祉課 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		
ボランティア活動の活性化	ボランティア市民活動センターとの情報交換・共有を図り、活動支援を行なうことを通じて、ボランティア活動への市民の参加を促進し、活動の活性化を図ることで、心身の健康づくりの機運を高めます。	自治振興課 社会福祉協議会	(自治振興課) ボランティア市民活動センターとの情報交換・共有を図り、活動支援を行なうことを通じて、ボランティア活動への市民の参加を促進し、活動の活性化を図ることで、心身の健康づくりの機運を高めます。 (社会福祉協議会) ●自治振興課との情報交換を行なながら、更なるボランティア活動の活性化とともに、市民のボランティア活動への参加を促し、心身の健康づくりができるよう努めます。			自治振興課 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)  社会福祉協議会 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		
地域コミュニティを通じた健康づくりの支援	自治会や地域振興協議会等と連携し、活動支援を行うことを通じて、市民活動への参加を促進し、地域交流の活性化を図ることで、心身の健康づくりの機運を高めます。	自治振興課	自治会や地域振興協議会等と連携し、活動支援を行うことを通じて、市民活動への参加を促進し、地域交流の活性化を図ることで、心身の健康づくりの機運を高めます。			自治振興課 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		

## 7. 生涯を通じた健康づくりを支える社会環境の整備

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R6(2024)年度 取り組み計画	R7(2025)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	R7(2025)年度 計画 (昨年度からの改善や 追加もあれば記載)	評価指標	
							現状(令和4年)	目標(令和16年)
健康に関する情報提供	日常生活における様々な場面で、健康づくりに役立つ情報が提供されるよう、関係機関との協力や連携、協働のもと、情報提供を行います。情報をする際には、年齢や障がいの有無、電子機器の利用状況等に問わらず、誰もが情報を受け取れるよう配慮します。また、SNSを活用した情報提供について検討し、効果的な情報提供を図ります。	健康増進課	・関係機関との協力や連携を行い、健康に関する情報を提供する。 ・情報をより届きやすくするために対象別に啓発媒体や啓発方法を変更する。	・4月号広報に健康づくりカレンダーを折込み情報提供を実施した。健康づくりカレンダーはホームページにも掲載した。 ・栗東市子育てアプリ「くりナビ」に各種がん検診の案内、ブレースト・アウエアネス、骨粗しょう症予防について掲載した。	B	健康増進課 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		
企業と連携した健康づくり	企業と包括連携協定を結びながら、健康づくりに取り組みます。	健康増進課	・健康会議の実施 ・健康啓発事業の実施	・健康会議の開催 ・あなたの健康ささえ隊協力事業所へ年2回健康情報ちらし「プロジェクトW」を配布した。	B	健康増進課 ■令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入) 栗東市健康増進課、びわこ薬剤師会、大塚製薬株式会社の3者で開催している健康会議は令和6年度で終了。今後3者での事業提案がある場合は適宜、協議を行う。		
協働による健康づくりの推進	市域を超える取り組み、専門分野での市への助言や支援、職域への働きかけ、圏域、県、国との比較に関するデータの提供等、市単独では難しい取り組みについて助言や協力をを行い、市の健康づくりを支援します。	県南部健康福祉事務所	健康いきいき21健康しが推進プラン(第3次)に基づき取り組む。 地域と職域が連携し、健康づくりを推進する、「湖南圏域コラボヘルス推進事業」を通じて、働き盛り世代の健康づくりを推進する。	●湖南圏域コラボヘルス推進会議を開催。(3/14) ●企業向け研修会を開催し、健康づくり担当者同志の情報交換の場を設定した。(2/5) ●管内の企業に訪問し、健康づくりに関する聞き取り調査を実施(湖南圏域8社うち栗東市内2社)。	B	県南部健康福祉事務所 □令和6年度(実績)と同じ □新規事業や、内容の変更がある(下記に記入)		

